

講義名	ドイツ語			授業形態	
担当教員	森田 一平	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

ドイツ語を学ぶことはドイツ語を話す関々とそこに暮らす人々を知ることです。ドイツ語が話されている国はどんなところ、それらの国にはどんな歴史や文化があるのか、そこで人々はどんなことを考えて、どんな生活を送っているのか、ドイツ語を学びながらそれらを感じ取ったり、推測したりしていきます。実際のドイツ語圏での生活に使える身近な表現を学ぶと同時に文章を作っている規則を学んでいきます。

到達目標

名前、出身、住んでいる場所、職業、年齢、趣味、好きな飲み物、家や部屋の中の家具、事柄、商店や施設の名など実生活に必要な身の回りの事柄が言えるようになる。平易なドイツ語の語彙、文が発音できるようになる。表現、語彙学習を通じて名詞の性と冠詞、動詞の人称変化などの基本的文法事項を理解し、活用できるようになる。

提出課題

授業の復習として、教科書付属のワークシートまたは、教科書の内容を補うワークシートを課題として出す。課題は平常点として評価するので必ず提出すること。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出物は添付ファイルでメールに添付して提出（メールテキスト本文に書かない）。添削して返却するので返却されたものは関連した箇所をチェックしておくこと。

評価の基準

授業中のグループワーク、発言など 10%
提出物 5%
筆記試験（中間試験(2回合計) - 60%、期末試験 - 40%) 75%
口述試験 10%
試験では基本的に表現・語彙、文法規則などについて授業中に学んだことの成果を問う。

履修にあたっての注意・助言他

教科書は必ず購入すること。5月以降教科書を持たずに出席した場合は欠席とみなします。

毎回出席が前提です。単位取得には2/3以上の出席が必要。欠席1/3未満であっても連続して欠席しないように。発音にしろ表現や語彙、文法にしても日々の積み重ねが重要です。

教科書

ドイツ語アルファ 三訂正版。	生物美喜他	朝日出版社	2750	978425525399
----------------	-------	-------	------	--------------

参考図書

その他

独和辞典は必ず持っておくように。例えば アクセス独和辞典 三修社

授業計画

- Lektion 1 自分について語る(自己紹介) 名前、出身、住んでいるところ
予習：音源を聴いてアルファベットを発音する、教科書2ページの地図を見て都市の名前を発音してみる(2時間) / 復習：5ページのキーセンテンスを覚える、その表現を使って簡単な自己紹介をする(2時間)
2. Lektion 1自分について語る(自己紹介) 名前、出身、住んでいるところ(続き)、あいさつ、文法学習 動詞の変化
予習：音源を聴いてアルファベットを確認、5ページのキーセンテンスを確認(2時間) / 復習：6ページの表現を使ってあいさつができるようになる、動詞の変化を確認して覚える(2時間)
3. Lektion 1 職業について語る・食べる、あいさつ(まとめ)
予習：音源を聴いてアルファベットを確認する、8ページまでの内容を確認する、7ページを見て動詞の変化を確認する(2時間) / 復習：10ページの語彙と表現を読んで、これを使ってあいさつをし自己紹介ができるようになる、相手に質問できるようにする(2時間)
4. 第一回中間試験
予習：Lektion 1の文を声に出して発音する、辞書をひいて意味を確認する、文字と発音を確認、動詞の変化を確認、自己紹介ができるようになる、質問できるようにする(2時間) / 復習：試験に出てきた問題でできなかった文法事項、語彙、表現を確認する(2時間)
- Lektion 2 自分や話相手以外の第三者を紹介する、国名、言語名、不規則な動詞変化、数詞
予習：Lektion 1の内容を確認する、文字と発音を確認する(2時間) / 復習：10から9までの数詞を覚える、12ページの表にある動詞の変化を覚える(2時間)
6. Lektion 2自分や話相手以外の第三者を紹介する、国名、言語名、不規則な動詞変化、数詞(続き)
予習：10から9までの数詞を言うことができるか確認する(2時間) / 復習：15ページのメールテキストを読んで文の構造を確認する、テキストの内容を確認する(2時間)
7. 第二回中間試験
予習：Lektion 2の文を声に出して発音する、アルファベットの発音を覚える、動詞の変化を復習し意味を確認する、数詞を覚え声に出して発音する、Lektion 2の自分や他人の紹介に必要な表現を確認し覚える(2時間) / 復習：試験に出てきた問題でできなかった文法事項、語彙、表現を確認する(2時間)
- Lektion 3 朝食、食事、文法学習 不規則動詞、名詞の性別、不定冠詞
予習：10ページ、16ページの表を見て動詞の変化を確認する(2時間) / 復習：16ページの「語彙と表現」を見て疑問詞、名詞を確認する、17ページのキーセンテンスを見て自分の食の好みや食習慣、物の値段をたずねたり言ったりできるようにする(2時間)
9. Lektion 3 朝食、食事、文法学習 不規則動詞(続き)、数詞、名詞の性別、不定冠詞
予習：10から9までの数詞を覚える、動詞の変化を確認する(2時間) / 復習：10から20までの数詞を覚える、このLektionにできた名詞を辞書をひいて確認し1格、4格の不定冠詞をつけて覚える(2時間)
10. Lektion 3 朝食、食事、文法学習 不規則動詞(続き)、数詞、名詞の性別、不定冠詞
予習：10から20までの数詞を確認して覚える、食べ物に関連する名詞の性別を確認し不定冠詞をつけて覚える(2時間) / 復習：これまでに教科書にできた名詞を1格、4格の定冠詞をつけて覚える、21から99までの数詞を18ページの表で確認して覚える(2時間)
11. Lektion 3朝食、食事、文法学習 不規則動詞(続き)、数詞、名詞の性別、不定冠詞(まとめ)
予習：アルファベットの読み方を確認、動詞の変化を確認する(2時間) / 復習：21ページのメールを読んで文の構造を確認する、テキストの内容を理解する、1から20までの数字を覚える(2時間)
- Lektion 4 趣味、文法学習「好み」、「可能」の助動詞、助動詞を使った構文
予習：アルファベットを覚える、食べ物関連の名詞の性とそれにつく不定冠詞(1格、4格)を覚える(2時間) / 復習：1格と4格の不定冠詞を復習する、助動詞を使って「好きだ」、「できる」を表現してみる(2時間)
13. Lektion 4 趣味を語る・訊ねる、提案・勧誘をする、文法学習「好み」、「可能」の助動詞、助動詞を使った構文(続き)、不規則動詞
予習：1格と4格の不定冠詞を復習する、規則動詞、不規則動詞の変化を覚える(2時間) / 復習：提案、勧誘の表現を確認し、使えるように練習する(2時間)
14. Lektion 4 趣味を語る、提案・勧誘をする、文法学習「好み」、「可能」の助動詞、助動詞を使った構文(続き)、不規則動詞
予習：提案、勧誘の表現を確認し、使えるように練習する、規則動詞、不規則動詞の変化を確認する(2時間) / 復習：27ページのメールテキストの構文と内容を復習する、28ページの表を見て助動詞、不規則動詞の変化を確認して覚える、趣味・食料について語るのに必要な語彙・表現を復習する(2時間)
15. 期末試験 筆記試験・口述試験
予習：これまでに教科書にできた語彙、表現を覚えて声に出して発音する、名詞を1格と4格の不定冠詞をつけて復習する、数字を覚える、教科書に出てきた規則動詞、不規則動詞、助動詞の変化と意味を覚える(2時間) / 復習：試験に出てきた問題でできなかった文法事項、語彙、表現を確認する(2時間)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

ドイツは経済的、政治的にEU・ヨーロッパの最も重要な国の一つです。ドイツ語学習を通じて、ヨーロッパ社会への理解を深め、国際的な視点を持つことに繋がります。他者との会話を通して実社会で必要なコミュニケーション能力、対人能力を培う良い機会とします。これらの能力は高学部に求められる卒業生の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立ちます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
オーストリア政府公認ドイツ語検定試験OSDの試験官に20年以上従事
実際に即したドイツ語の運用能力を読解、聴解、作文、発話の4技能において養成

備考

復習を重視します。毎回2時間程度の復習が必要。教科書の課題質問などを課題として出します。付属CDの音声教材を聴くだけでもドイツ語の上達につながります。新出単語を書き出すなど各自で自分に合ったいるな方法を取りましょう。